

注目の経営者が語る「今、人材に求められる能力」

エンジニアの育成がIT企業発展の原動力 ビリオンカンパニー、そして、IPOへ



株式会社ライアンフコーポレーション
代表取締役
小澤 勝氏

■ 企業概要

住所 : 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル44階
事業内容 : 情報技術コンサルティング事業 (コンピュータソフトウェアを中核技術としたエンジニアリング・サービス業務)
従業員数 : 158人
設立 : 1999年10月
売上高 : 7億4223万円 (2007年9月期決算) ※連結売上高10億円 (2007年1月～12月期)

出身地 : 東京都
趣味 : 読書、旅行、音楽鑑賞
座右の銘 : 万事に造詣深くあれ

■ わが社の商品・サービスと事業優位性

人材への先行投資が企業拡大への好循環に。

当社のSI事業は著しく売上高が成長しており、設立9年目の今年は年商10億円に到達しました。このような好業績は、難しいといわれるIT技術者の採用と人材育成を独自のノウハウによって成功し、急激な受注増加に対応した結果であると自負しています。実際、今年春実施の情報処理技術者試験では17名もの合格者を輩出し、過去には入社2ヶ月でOracle Master Goldに合格した者もおります。現在、この教育プログラムは社内のみならず社外にもサービス提供しており、当社のビジネス・パートナーの皆様にもご利用頂いています。人材への先行投資が売上を増加させ、売上増加が更に投資を増加させる好循環が生まれているのです。

■ 今後の事業戦略

ビリオンカンパニー、そして、IPOへ。

情報処理技術者試験の主催者であるIPA (情報処理推進機構) の調査 (2005年度発表) によると、情報処理サービス事業者約300社の半数が売上高10億円以上であり、約2.5%の売上高成長を達成していました。情報処理サービス事業で成功するためには一定以上の事業規模拡大が不可欠である事がわかります。当社は、ビリオンカンパニー (売上高10億円を超える企業) を目指すことを設立から10年内の長期事業計画とし、今年ついに達成しました。次の10年では、事業拡大と安定の両立を図り、IPO (株式上場) を目指します。

■ これからのビジネスパーソンに期待すること

企業イノベーションを促進する人材を歓迎。

転職希望者の多くは、現状に対して多くの不満を持っているはずですが、売上が伸びない、計画に無理がある、残業がなくなる...。私は、不満を持つこと自体は、問題発見能力がある証拠だ、と前向きに考えています。そして、実際に転職した人は、行動力がある、とも評価します。しかし、人材の本当の価値は、転職後に決まるとも考えます。自分が発見した課題なら、自分が率先して解決できてこそ価値があります。そのための行動力もあるはずですが、転職で何かが変わるというのではなく、何かを変えるために転職が必要なのです。人材の流動によって企業のイノベーションを促進する、そんな考え方に共感できる転職希望者を私たちは歓迎します。